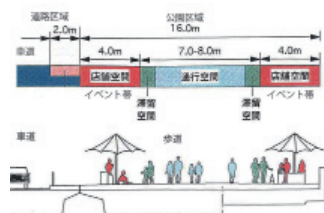
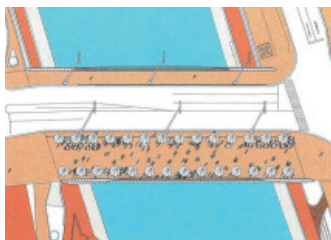


小倉中心部を南北に貫く紫川に架かる一連の橋梁群の架け替え・修景事業を展開すべく、市は修景事業を行って来た（上田篤氏意匠設計監修）。アプルは最終段階の整備となった石の橋（勝山橋・幅員 40 m）の歩道部デザインの見直し設計を担当し、兩岸の大型商業施設を擁する界隈の賑わいを結びつけるべく上流側歩道が広く確保され、その部分の路面デザインは地元小倉織デザイナー・築城則子氏、賑わい醸成のためのソフト提案および地元連携は北山創造研究所と協働し、歩道幅 16m のうち 14m をまちづくり帯を提案した。市はそれを受け、歩道幅 16m のうち 14m を公園区域に指定、道路交通法指定外と決定（まちづくり総合支援事業）、設計段階でイベント用パラソル・テント類の補助施設の床埋め込み、ボラードにイベント用電源、水道施設を組み込んでいる。

今では地元による定期的なイベント会場として定着し、上部にソーラーパネル付き上屋が追加されている。その他、関連の紫川沿いの歩道修景、連絡歩道橋の設計、ライトアップ等にも関わってきた。



道路区域と公園区域の共存（断面構成）



歩道（公園敷地）内のイベントパラソル配置イメージ



歩道内の公園区域と道路区域の境界部にプランター設置



歩道（公園区域）内のイベント活用風景



勝山橋（石の橋）のイベント活用風景

経緯 勝山橋・紫川東線景観設計他業務委託 '99.11～00.2 北九州市／勝山橋（橋上部）基本設計他業務委託 '00.1～00.3 北九州市／紫川左岸・紫川東線基本デザイン検討 '01.2～01.3 北九州市／紫川（石の橋～太陽の橋間）デザイン検討 '02.2～3 北九州市

担当：中野、萩原、金光、熊耳、岩村、加藤、協力・北山創造研究所（北山孝雄、金田直人）